

理想の健康経営優良企業を目指す。

コロナウイルスの影響で、雇用状況は一変し、売り手市場では無くなりました。しかし、昨年までは人手が不足し、どの会社も多額の費用を掛けて獲得に動いていたので、就職する側の方が沢山の選択肢の中から選ぶのが当たり前でした。

企業は選んで貰う為に条件を吊り上げたり、福利厚生を充実させたり、エージェントの言い値で紹介をしてもらったりと、背伸びをし続ける状況でした。

資金が潤沢な大手企業はそれでも耐えられますが、私たちのような中小企業には大変厳しい状況でした。でも不思議な事に、それだけ貴重な働き手が、働き始めてみると、毎年2,000人以上のものが仕事の原因で自ら命を絶っているのです。

働き盛り、と真ん中の貴重な存在です。

仕事の原因で精神的に病んでしまう方も、同じく2,000人を超えてるくらい毎年出ています。

労災申請しているだけでこの数ですから、もっと大勢の方が実際は苦しんでいる事でしょう。

本来、仕事は誰かに喜んで貰い、それが自分の喜びとなり、楽しく仕方がないのが理想的です。ほろみの理想の働き方として企業理念にも掲げられていますが、やはり精神的にいつも健康に楽しんで仕事ができる環境が望ましいのです。

しかし、それが分かっているのに、そうならない会社が実に多いのです。

就職場でのいじめ、嫌がらせによる悩み相談の受付件数はひたすら右肩上がりです。昨年は8万2千件を超えました。これも、相談できず悩んでいる方がどれほど隠れているのかわかりません。

どんな便利な世の中になっているのに、人と人との間の不和は増え続けているのです。

離れていてもコミュニケーションが瞬時に取れる時代が一番問題が多くなって皮肉です。

人が不足しているのに、人同士が傷つけ合い、足を引っ張り合うのですから、どれだけ資金を投じて募集をかけても、無駄な事になってしまいます。

たまたまコロナで会社が激減したので雇用バランスが逆転しましたが、問題の根本は残ったままなのです。少なからず、ほろみ内でも問題は抱えているのではないのでしょうか？

やはり心と体が健康である事が、楽しく仕事をするための土台です。

以前も書きましたが、店の人間関係が悪くて良い仕事は生み出せません。

体の健康状態が悪ければ、言うまでもありません。責任のある立場の人は特にそうです。

健康状態を良好に保つのも仕事に入っています。

急に治療に専念しなければならなくなったら、多くの人に迷惑をかけます。体調不良をしておいて働き続けた事を後悔してくる人はいません。自己満足です。

2020.

9/10 No.2

さて、昨年健康優良経営企業を目指して宣言しました。コロナ騒ぎで頓座していましたが、いよいよ本腰を入れて前に進めて行きます。

「働き方改革対策」と「採用対策」として有利に働くよう取得する企業が多いため、私たちは「会社の質」を変えるのを目標として取り組んで行きたいと思っています。

その為に私は健康経営アドバイザーの資格を取りましたが、その時に最初に学んだ健康経営の基本的な考え方が驚くようなものでした。

従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に実践する方法とありました。

その為に使う費用はコストではなく投資として考える、ともありました。

そうすれば、活力が上がる、生産性が上がる、企業イメージが上がる、人材確保が容易になるなどが列挙されていました。

働き手の活力や生産性が上がるのはもちろん、イメージアップと人集めの為に取り組むのは何か違うのではないのでしょうか？コストと呼ぶのは論外ですし、投資でもないと感じました。働き手の健康に気を配るのは雇用主の義務です！！皆さんの健康状態は、会社の為に改善するものではありません。

命を大切にするため、働く人を大切にするためです。

さて、昨年より残業の是正など既に取り組んでいるものもありますが、これから新しい取り組みもあります。生活習慣病予防検査の全員の受診、結果が思わなければキチンと治療に向き合ってください。ストレスチェックも定期的に受けていただきます。また理想的な食生活の推奨や、十分な睡眠時間を取るよう調整をする声かけなども店長よりあるかと思っています。

さらに、社内でのコミュニケーション促進、運動する機会を設ける、感染症予防を徹底する、

禁煙に取り組むよう促す、職場環境での様々なハラスメントに対するホットライン設置、

産業医への相談、やる事は手を打ち皆さんが健やかに仕事に従事出来る環境を

整えて行きます。まずは店長に実践していただきながら、後々勉強会も開催していく計画です。

なんだかプライベートまで踏み込まれるように嫌だな、と感じる人もいるでしょうか？

これは、監視する為ではなく、健康を願ってやまないが故の取り組みだと理解いただければ幸いです。

店長は多忙かと思いますが、協力をお願いいたします。

もし、働き手に目が行き届いていない状況だったり、暫く話も出来てない人がいるような事があれば、これを機に全ての人に目と配り健康状態、精神状態が健全に保たれているか観察して下さい。異変を少しでも感じたら声をかけたり、自分からアクションを起こし、見ない振りはせず状態の把握に真剣に努めて下さい。

2020

9/10. No.3

意識して関心を持ち、愛情を注ぐならば、自然と相手の状況は把握出来る筈です。愛の店を作るには、社長から店長に、店長から働き手に愛情を注ぐ所が止まらずに流れて行くのが大切ではないでしょうか？

十分に伝わって始めて、嬉しく楽しく働けるかと思います。もちろん私からも直接会える方には、精一杯愛情を注ぎたいと思っています。

気持ちから爽やかで穏やかならば、仕事の質も上がります。車の運転もやさしくなります。ストレスが減る事が健康には大きく貢献します。

良い店長のいる所の働き手は、心身共に健康になりやすいのです。

一般的な会社が益々人同士のトラブルが増え、働き手が離脱していく最中。

うちの会社は逆に嬉しく楽しく働く人が増え、快活で健康的で、益々人同士の関係が平和で良女子になるならば、とても素晴らしい事ではないでしょうか？

目指すならばそのような会社ではないでしょうか？

まずは、働いている人達の家族の皆さんから良い言平西で得るのが当面の目標です。家族は正直です。

「給料ももらうために仕方なく働いているが、夜遅まで働いたり、体調が悪くても休まず働いている」

このような命を削ってお金に換金するようなやり方は、本当の働き方ではありません。家族は心配します。

「今までに重労働して本当に良かった」と本人だけでなく家族にも言われるよう変化しましょう。

見せかけでない健康優良企業となつたならば、コロナウイルスが収まり、また人手が不足するような状態が訪れたとしてもこの会社には働きたい人が行列するような本物の魅力が備わっている事でしょう。

沼田 真弥